

2011 年度日本建築学会大会で当センターの教員が研究発表を行いました (2011/8/23-25)

日本建築学会が主催する「2011 年度日本建築学会大会」が早稲田大学・早稲田キャンパス（東京）を主会場として行われました。今大会は、年に 1 回開催されるもので、学会員が研究発表を行う学術講演会のほか、記念シンポジウム、研究懇談会、パネルディスカッション、見学会などが開かれます。当センターからは、研究懇談会（農村計画部門）にて話題提供者として越村准教授が、学術講演の発表者として源栄教授、大野准教授、柴山助教が登壇しました。今年度大会では、東北地方太平洋沖地震に関する研究発表が多かったほか、東日本大震災に関連するパネルディスカッションが開催されました。各発表者の講演題目等は次の通りです：

研究懇談会

○農村計画部門、漁村集落再生のシナリオー東日本大震災からの復興ー

- ・ 越村俊一：防災からみた漁村の再生

学術講演会

○セッション「構造Ⅱ」地震被害（2）：東北地方太平洋沖地震

- ・ 源栄正人，三辻和弥，田中匠子，鹿嶋俊英，大野晋：2011 年東北地方太平洋沖地震における被害建物の地震前後の振動特性の変化

○セッション「構造Ⅱ」地盤振動（5）

- ・ 大野晋，源栄正人，柴山明寛：2011 年東北地方太平洋沖地震における仙台市内の強震動特性

○セッション「構造Ⅱ」強震動予測（1）

- ・ 加藤研一，久田嘉章，大野晋，野畑有秀，森川淳，山本優：強震動予測手法に関するベンチマークテスト その 7 統計的グリーン関数法（ステップ 3・4）

○セッション「構造Ⅱ」地震情報・防災（8）：地震被害把握・減災

- ・ 柴山明寛，大野晋：簡易加速度センサーを利用した即時震度情報収集システムの開発

○セッション「構造Ⅱ」地震被害（2）：東北地方太平洋沖地震

- ・ TSOGEREL TSAMBA，源栄正人：Investigation of dynamic behavior of a damaged 9-story building during the 2011 Off Pacific Coast Tohoku Earthquake

※下線はセンター構成員